

教科名		算 数	教科書調査報告
発行者名		東京書籍	大日本図書
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な数値を入れてその変化を見たり、数と具体物、十進位取りの関係を確認したりするデジタルコンテンツをめあての直後に示し、既習事項との関連を確認できるようにすることで、児童が学習内容を捉えやすくしている。</li> <li>・問題解決型の流れに沿って学習を進めたり、補助発問を多く取り入れたりしているため、算数が苦手な児童もゆとり理解しやすい構成になっている。</li> <li>・単元ごとに二次元コードがついており、計算練習に取り組めるようになっている。</li> <li>・既習事項の復習ページがあることで、基礎・基本の定着が図れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題の二次元コードがついており、基礎・基本の定着を考慮している。</li> <li>・ウェブコンテンツは、3年生のわり算、5年生の合同な四角形の学習などの際に、図を操作しながら学習内容を児童一人でも理解できるように工夫されている。</li> <li>・学習した内容に「ひらめきアイテムシール」を貼ることで、学習の振り返りをする機会にしている。</li> <li>・「プラスワン」のページでは、多くの練習問題を掲載するなど、基礎・基本の定着を図っている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの単元の中で、ヒントや吹き出しで記載する量を徐々に減らし、自分自身で問題を自力解決させることを前提にページ構成がされている。</li> <li>・ページ下部にある「それなら」で、児童の思考の広がりをもたす工夫をしている。</li> <li>・「つないでいこう算数の目」で次に考えてみたいことについて言及することで、児童の思考の広がりをもたしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の算数の学び方では、課題解決の流れを意識できるように工夫されている。</li> <li>・「ひらめきアイテム」という名称で、数学的な考え方を児童に意識させるようにしている。</li> <li>・単元の随所に問題解決に向かう過程を掲載し、思考を促す工夫がされている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年の体積などでAR(仮想空間)により量感が確認できるよう、デジタルコンテンツを紙面掲載することで、3次元の内容や広さの感覚について体験しながら学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>・表やグラフのツールがあり、児童が自由に作成することができる。</li> <li>・「プログラミングを体験しよう」では、デジタルコンテンツで4つの数の並び替え方などを体験的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンブラグドプログラミングとビジュアルプログラミングを掲載することで、段階的にプログラミング的思考を伸ばす工夫がされている。</li> <li>・「算数たまたまばこ」のページでは、身の回りの大きな数やプログラミングについて、資料提示することで、児童が身の回りにある算数について考えられるように工夫されている。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生以上に「食べ残し」や「地球温暖化」など、身近な問題に関する資料を扱った問題が掲載されている。</li> <li>・「算数で読みとこう」のページに、SDGsと関連した内容が掲載されている。野菜価格の高騰など現代的な課題に対して、数学的な見方・考え方を促す工夫がある。</li> <li>・「いかしてみよう」のページで数学的な見方・考え方と、日常生活とのつながりを意識させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上では、算数に関わるSDGsコラムや「お仕事インタビュー」が載っている。</li> <li>・「なるほど算数教室」のページに、SDGsと関連した内容が掲載されている。</li> <li>・外国にルーツのある登場人物があり、多様性を考慮している。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の復習のページに二次元コードがついており、「考え方」「答え」という構成で、児童が主体的に学習することができる構成になっている。</li> <li>・学習のサポート用に二次元コードがあり、自分で練習問題を進めることができる。</li> <li>・補充の問題が巻末についており、主体的に学習に取り組むことが可能である。</li> <li>・単元冒頭にオープニングムービーを設定することで、主体的に学習に取り組めるような工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「ひらめきアイテムシール」があり、興味をもって学習に取り組める工夫がしてある。</li> <li>・「新しい学習がはじまるよ」で、次の学習へ向けた動機付けを行っている。</li> <li>・「なるほど算数教室」で、算数が社会で生かされていることに実感をもてる工夫をしている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や食育など、地域の実態に照らして学習を進めることができる。</li> <li>・「算数でよみとこう」のページに、地球温暖化や防災について掲載されており、ESDの視点を取り入れつつ、地域の実態に合わせて学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの一つである「8 働きがいも経済成長も」のアイコンが掲載されている。</li> <li>・問題場面に環境問題に関するものを掲載するなど、地域の実態に照らして学習を進めることができるようになっている。</li> </ul>

教科名		算 数	教科書調査報告
発行者名		学校図書	教育出版
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを活用することで、児童一人でも学習を進めることができる。</li> <li>・ノートの書き方の見本が大きく掲載されているので、児童にとって書きやすいと言える。</li> <li>・「できるようになったこと」のページでは、どのページを振り返りながら問題に取り組めばよいか明示されており、自分で問題に取り組みやすくなっている。</li> <li>・1～4年生では、単元の途中で、同単元で学習してきたことをデジタルコンテンツで振り返ることができ、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに二次元コードがついており、計算練習に取り組めるようになっていて、基礎・基本の定着を目指している。</li> <li>・まとめの部分が動画になっているので、視覚的に捉え、理解することができる。</li> <li>・単元間でこまめに「たしかめ」を設定し、顔マークで自分の学習状況を振り返ることで、自分の課題を捉えやすくしている。</li> <li>・巻末に学びの手引きとして、数直線の書き方などを掲載することで、重要なことを繰り返し確認できるようにしている。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線だけでなく、4マス関係表も指導事項として掲載されているので、児童の思考を促すことにつながっている。</li> <li>・「考え方モンスター」という名称で、数の単位をそろえることでの規則性など、数学的な考え方についてキャラクターで示すことにより、児童に数学的な考え方を意識させるようにしている。</li> <li>・単元が「はてなを発見」から始まり、単元の途中にも「はてな」を掲載するなど、児童が自ら考える工夫がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□+□=8など、答えが一つではない問題が提示してあり、多様な考えを求めている。</li> <li>・単元末に数学的な見方・考え方に関する内容を4コマ漫画でまとめ、児童が思考を整理する上で助けとなる。</li> <li>・各単元において、思考の経過や多様な考え方について例示することで、児童の思考を広げている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に即応し、巻末にプログラミングのシートが付いている。</li> <li>・「算数をつかって」では、バリアフリーやプラスチックごみについて扱うなど、現代的な課題に即応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の小学校の数、先生の数、小学生の数など、2020年の調査資料(現時点では最新)が掲載されている。</li> <li>・デジタル機器を使つての学習の仕方が解説されているため、多様な学び方を考えることができる。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デジタル・シティズンシップを身につけよう」という、特設単元を設けている。SDGsに関連した問題が3年生以上に掲載されている。</li> <li>・各単元において、机をつけて話し合いながら学習を進めているイラストが掲載されており、相互に協力して問題に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生で、「国でちがう数の表し方」や「点字のしくみ」などを取り上げるなど、各学年でSDGsと関連した問題が提示されている。</li> <li>・分度器の使い方、角のかき方など、左きき用と右きき用のデジタルコンテンツが準備されており、多様性に配慮されている。児童も多様性を意識することができる。</li> </ul>
B 使用上の 便宜につ いて	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の見出しが各ページの左上に掲載されており、「いま、何の学習をしているか」が分かりやすく、児童も確認しやすくなっている。</li> <li>・単元に「考え方モンスター」を登場させることで、どうしてそうなるのかや、別の表し方について着目させやすくさせるなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫している。</li> <li>・単元末の「やってみよう」で、児童の主体性を引き出す工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを使った「学びのマップ」で前学年の関連する内容を振り返ることができ、児童が復習をすることができる。</li> <li>・新しい単元が始まる前に「どんな学習が始まるのかな」のページがあり、既習の振り返りをしてから、新しい単元に入っている。</li> <li>・単元の途中に配置している「つながるミカタ」においては、単元内でそれまでに学習したことを振り返り、次の学習の見通しがもてるようにすることで、主体的に学習に取り組めるように工夫している。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全や食料のこと、ハザードマップなど、地域の実態に照らして学習を進めることができる。</li> <li>・3年生で扱う「遊園地で遊ぼう」、4年生で扱う「ポッチャントライ」など、本市の実態に合わせて内容を扱うことができる題材がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルや地域のごみ拾いなどを題材として取り上げることで、地域の実態に合った学習を展開することができる。</li> <li>・多摩市及び近隣市でも栽培されているブルーベリーを題材にしたグラフの学習や、バスや電車、公園といった地域性を生かせる題材を採用し、児童が身近なものをイメージして学習できる。</li> </ul>

教科名		算 数	教科書調査報告
発行者名		新興出版社啓林館	日本文教出版
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟を図るための練習問題を、単元の中に多く掲載しており、基礎・基本の定着につながる。</li> <li>・解説動画付きで分かりやすく、児童の理解の定着を促している。</li> <li>・図のかき方など、順を追って示されているので、「自分がどこまでできたか」「どこで分からなくなってきたか」など、児童自身が理解する一助となっている。</li> <li>・各単元に「じゅんび」を設定し、既習事項を確認してから新しい学習に入ることで、基礎・基本の定着につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容を「まとめ」「たしかめ」と繰り返し扱うことで、基礎・基本の定着を図れるようにしている。</li> <li>・計算の仕方のヒントが示されているため、児童が自ら学習に取り組み、基礎・基本の定着を図ることができるようにしている。</li> <li>・単元ごとに二次元コードがついており、計算の練習問題に取り組みやすくなっている。</li> <li>・「次の学習のために」というページを設定したり、問題番号の上に何年生のどの単元で学習したかを記載したりするなど、次の学習を始める前に、既習事項を確認できるよう工夫している。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しによる「物の考え方」の例示が多く、児童が思考する際の助けとなる。</li> <li>・「学びを生かそう」のページで学習したことを日常場面に関連させて考えられるようにしている。</li> <li>・思考の過程を掲載することで、児童が自ら考えることを促すよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習してきたことを、「かんたんな場合で考える」「同じように考える」「広げて考える」など、数学的な見方・考え方を「学び方ガイド」という形で一覧にまとめているので、児童が活用しやすい。</li> <li>・単元内に数学的な見方・考え方を提示している。</li> <li>・「見方、考え方をみがこう」では、振り返り問題を扱っている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなのSDGs」では、自分たちに身近な給食や学校への水筒の持参、部屋の電気をこまめに消すことや、フードロスやごみ問題、省エネルギーなど、現代的な課題を多く扱っている。</li> <li>・プログラミングコンテンツにおいては、例示が多く児童が自ら学びを進められる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生には、「正多角形をかく」というプログラミングの学習が掲載されている。また、「レッツプログラミング」のページでプログラミング的思考について扱っている。</li> <li>・単元の途中に「見る」「練習」「動かす」の二次元コードが配置されている。また、「動かす」二次元コードを読み込むことで、実際に操作しながら、学習内容を視覚的に捉えることができる工夫がされている。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べ物を大切にしているかな」「みんなのSDGs」のページがあり、ESDの視点を取り入れている。</li> <li>・既習事項を「防災マップ」「けがを減らすには」など、生活や災害、安全に生かそうとすることができるような工夫がされている。</li> <li>・ESDの視点の一つである「多様性」を意識した登場人物となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生では、「水の節約」や「ごみを減らそう」を、取り上げるなど、「算数ジャンプ」のページにSDGsと関連した内容が掲載されている。</li> <li>・「世界の人口」「世界のひつ算」のような国際的な視野を広げる題材を取り上げている。</li> <li>・単元の途中にある「自分でみんなで」のページでは、学び合いや話し合い活動が示され、児童が協働性を意識できるよう工夫されている。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の練習問題に二次元コードがついており、答えを自分で確認し、学習を進めることができるようになっている。</li> <li>・「ウェブコンテンツ」に学年選択ボタンがあり、既習事項の確認もできるようになっている。</li> <li>・各単元ともに、学習するだけでなく、「ふりかえろう」や「学びをいかそう」「やってみよう」を配置することで、より主体的に学習を進める工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適用問題に二次元コードなどの解答はないが、教科書内の問題(説明の仕方)が穴埋めになっているなど解説が丁寧であり、児童の理解の一助となっている。</li> <li>・「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」で自分に合った問題を選んで取り組むことができる。</li> <li>・単元末にある「つかってみよう」で、学習したことを日常生活と結び付けることで、算数を身近なものとして感じられる工夫をしている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみをだすすぎでないか」「ごみをへらそうプロジェクト」など、住んでいる地域の実態に照らしながら学習を進めることができる。</li> <li>・水害への備えや遊園地を題材にしたページがあり、本市の状況に合わせて学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、減災への意識を高める題材を配置し、地域の実態に照らして学習を進めることができる。</li> <li>・図書室を題材に扱ったり、データの調べ方においてICT機器の活用の説明を入れたりするなど、本市の状況に合った学習を進めることができる。</li> </ul>